

日本化学産業株式会社

2026年3月期

第2四半期（中間期）

決算概要

2025年11月7日

2026年3月期

第2四半期 決算概要

01

2025年度 第2四半期累計（中間）

02

株主還元

03

2025年度 通期 業績予想

2025年度 第2四半期累計（中間）キーハイライト

中間決算

- 売上高 133億円（前年同期比 +8億円、+6.2%）
- 営業利益 15億円（前年同期比 △0.1億円、△0.6%）

（売上高、営業利益とも億円未満を四捨五入）

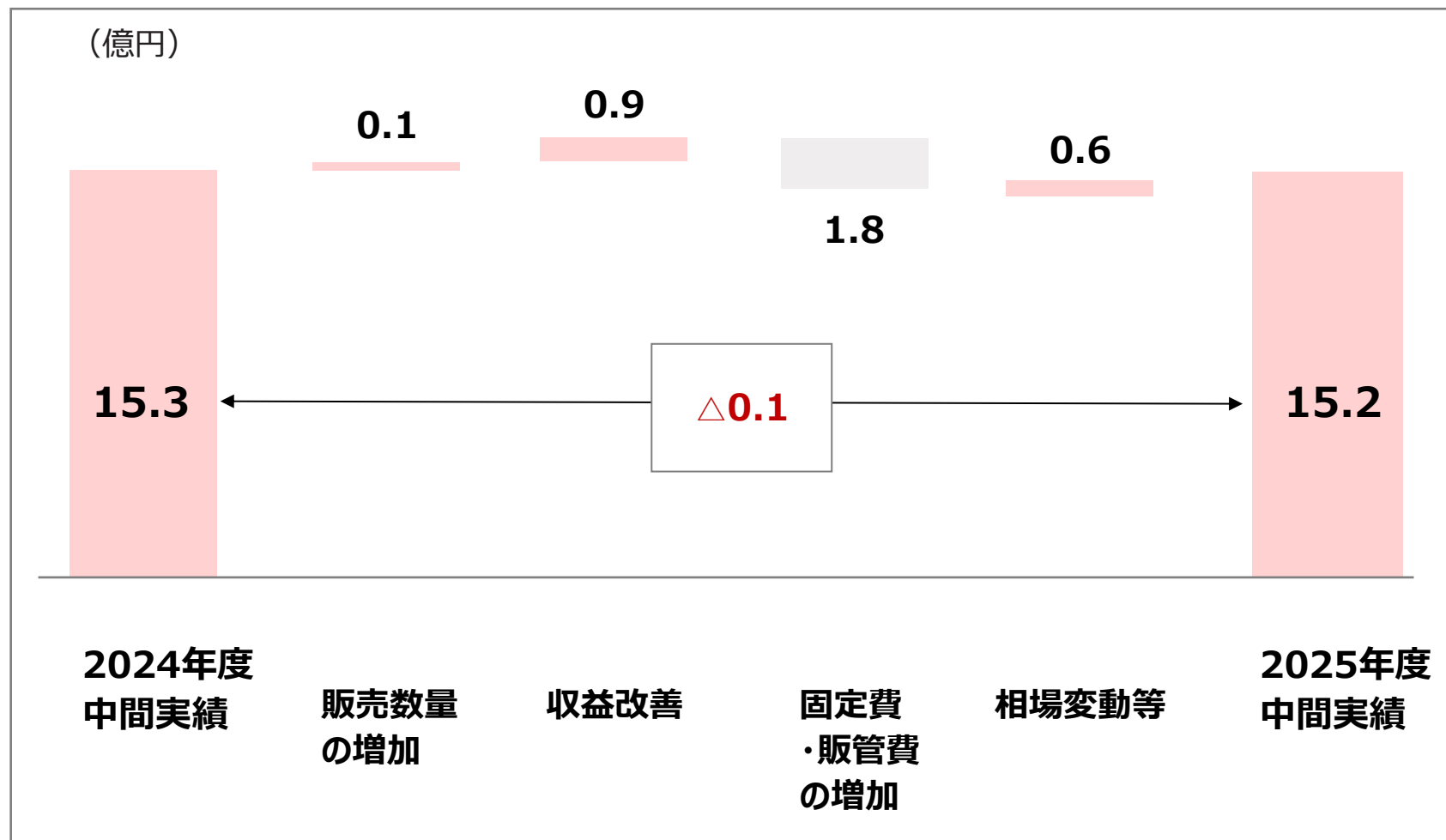
株主還元

- 株主還元の拡大
 - DOE4%を目安とした配当方針
 - 通期配当は1株当たり配当90円を計画（うち中間期配当45円）
- 株主優待制度の導入

2025年度 第2四半期累計（中間）

(百万円)	2024年度	2025年度	前年比	前年差
● 売上高	12,514	13,289	6.2%	775
● 営業利益	1,526	1,517	△0.6%	△8
● 営業利益率 (%)	12.2%	11.4%	—	△0.8%
● 経常利益	1,755	1,734	△1.2%	△21
● 親会社株主に帰属する 中間純利益	1,243	1,253	0.8%	10

2025年度 第2四半期累計（中間） 営業利益増減分析（対前年同期）



2025年度 第2四半期累計（中間）

セグメント別 業績

（百万円）

売上高

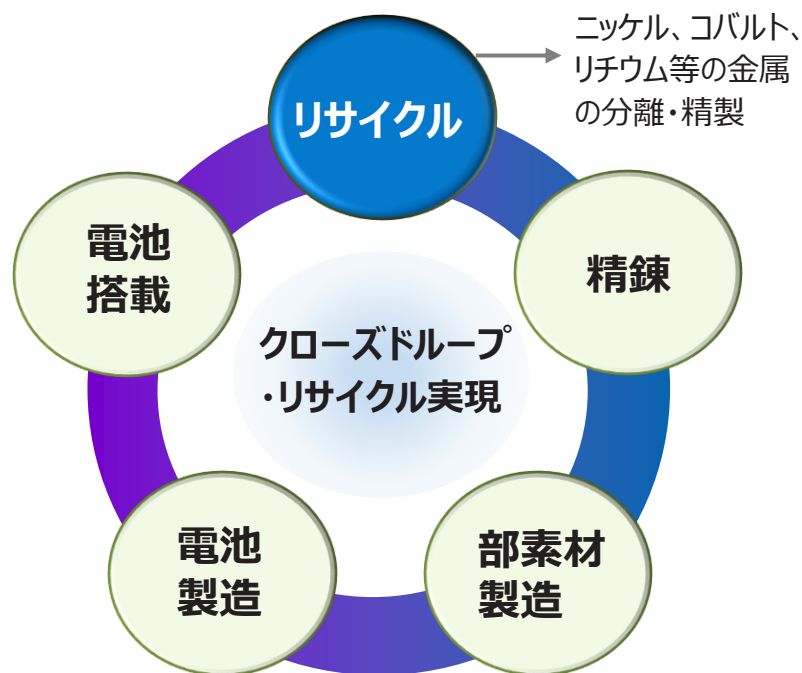
	2024 年度	2025 年度	前年比	前年差
■薬品 部門	10,733	11,422	6.4%	688
			主な差異理由 ・非鉄金属相場の上昇 ・タイ現法が好調	
■建材 部門	1,780	1,867	4.9%	86
			主な差異理由 ・販売数量の増加	

営業利益

	2024 年度	2025 年度	前年比	前年差
	1,698	1,745	2.8%	46
			主な差異理由 ・売上高の増加	
	278	275	△1.2%	△3
			主な差異理由 ・固定費負担の増加	

重要施策の進捗【いわきテクノロジーセンター（福島県いわき市）の建設】

独自の「金属の分離・精製技術」と
「電池材料の製造技術」の進化



サプライチェーン全体での環境負荷を低減

EV向け電池リサイクルのパイロットプラントは、
順調に建設が進捗（2026年春稼働開始）



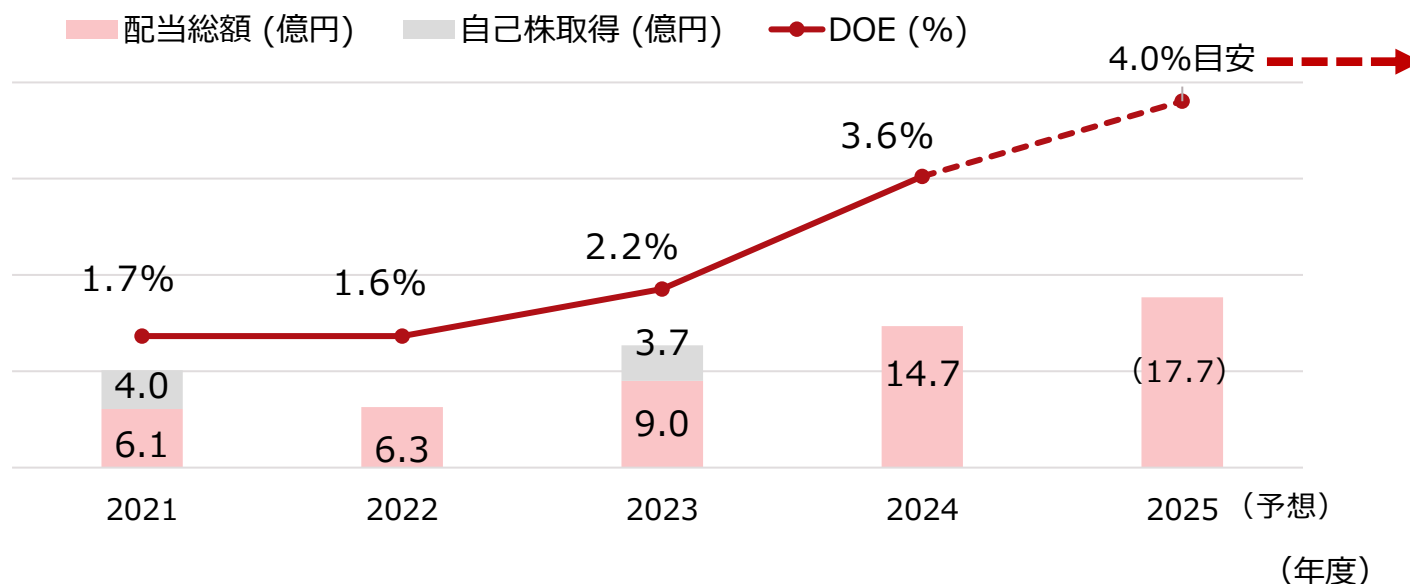
*2025年9月現在

2024年9月に、経済産業省から
「重要鉱物の供給確保計画」に認定

株主還元

1. 配当方針

財務健全性を維持しながら、当期連結業績や将来の資金需要等を総合的に勘案し、
株主資本配当率（DOE）4%を目安とし、安定的な配当を継続いたします。



一株当たり
配当金

31円

32円

46円

75円

90円
(うち中間期45円)

株主還元

2. 株主優待制度の導入

2025年度より、株主優待制度を開始。

初回基準日を2025年9月末とし、QUOカードを贈呈いたします。

概要

対象となる株主様

基準日（毎年9月末日及び3月末日）現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式を300株（3単位）以上保有されている株主様

株主優待制度の内容

継続保有期間	優待内容
1年未満	QUOカード 5,000円分贈呈
1年以上3年未満	QUOカード 10,000円分贈呈
3年以上	QUOカード 15,000円分贈呈

※詳細は当社HP、「IR情報」→「株主優待」をご覧ください。

2026年3月期 通期 業績予想

2026年3月期第2四半期累計（中間）期間の連結業績は、期初の想定に対して、薬品事業における販売数量の増加や、一部の非鉄金属相場の高騰、海外（タイ）子会社サイアム・エヌケーエス社の業績伸長等により、各段階利益は大幅に上回りました。

これらの要因に加え、現時点で入手可能な情報に基づき、通期業績見込みを検討した結果、主力の薬品事業における需要増が見込まれるほか、非鉄金属相場の上昇等により、売上高は増加すると見込んでおります。

各段階利益につきましても、売上高の増加に伴う、原価改善が期待されること等を踏まえ、前回発表予想を上回る見込みとなったことから、下記の通り修正いたします。

2026年3月期 通期業績予想

売上高 **262億円**（対5月14日公表値 15億円増額、増加率 6.2%）

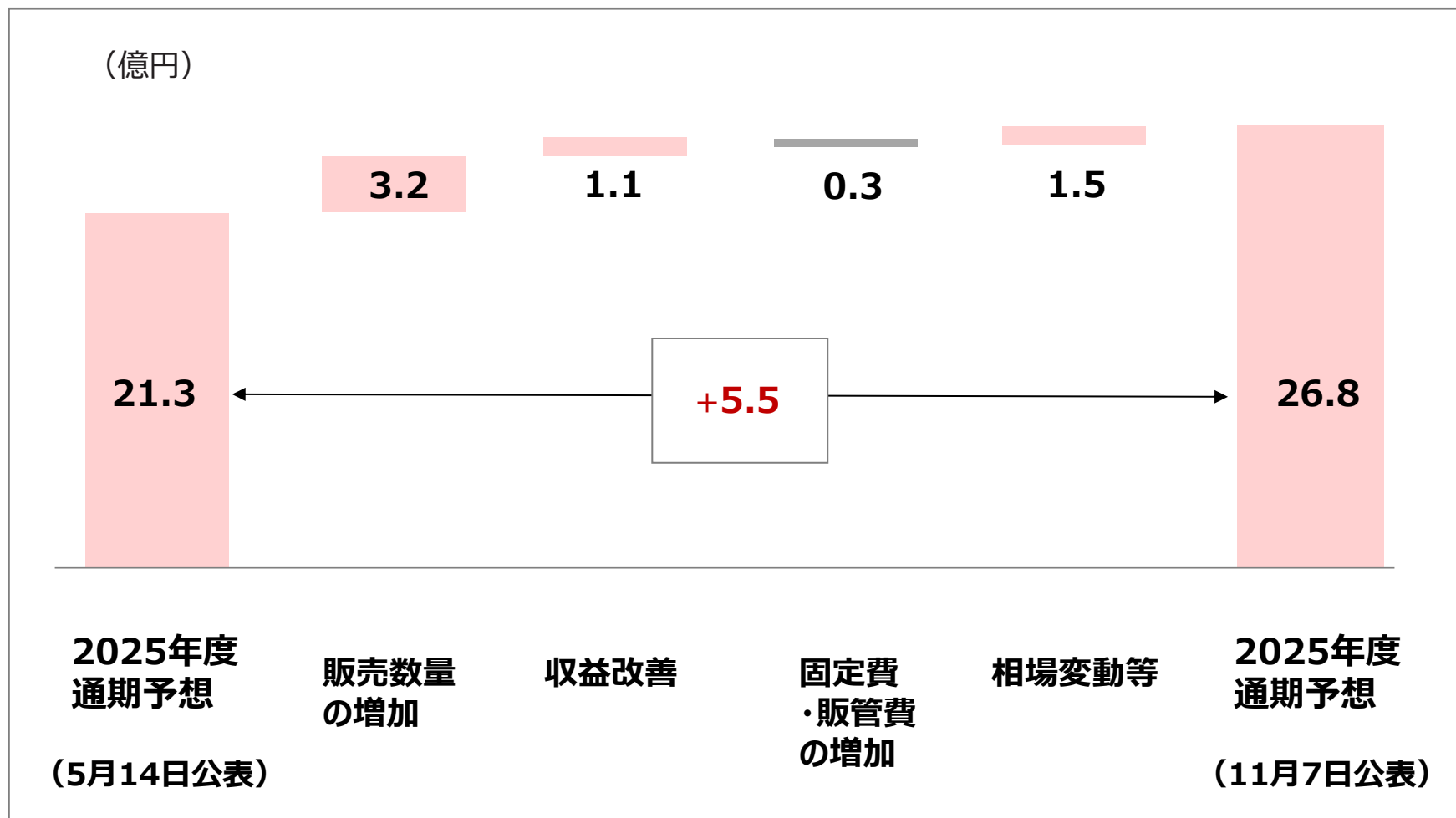
営業利益 **26億円**（対5月14日公表値 5億円増額、増加率 25.8%）

こうした状況も踏まえ、当社は中期経営計画（2023年10月発表）で示した「2030年度におけるありたい姿」の実現に向け、薬品・建材両部門とも、当社の強みを生かして、引き続き積極的な取り組みを推進してまいります。

また、株主還元の方針につきましても、原則として堅持する方針です。

2026年3月期 通期 業績予想

営業利益増減分析（対2025年5月公表値との比較）



おことわり

本資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された内容は、資料作成時点での当社の判断に基づくものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。今後、予告なしに変更されることがあることをご了承ください。万が一、この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社および情報提供者は責任を負いかねますので、ご承知おきください。